ひとの願いの、半歩先。
SHARP 埼玉大学 ARAV PRODRONE FURUNO

News Release

2026年11月19日
シャープ株式会社
国立大学法人埼玉大学
ARAV株式会社
株式会社Prodrone
古野電気株式会社

宇宙戦略基金「衛星通信利活用を拡大するための汎用地上アンテナ及びユースケースの開発・実証」に関する共同提案が採択

発表概要

シャープ株式会社、国立大学法人埼玉大学、ARAV株式会社、株式会社Prodrone、古野電気株式会社は、国立大学法人東京科学大学とともに、宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）が公募する宇宙戦略基金の技術開発テーマ「衛星通信利活用を拡大するための汎用地上アンテナ及びユースケースの開発・実証」において、次世代の衛星通信端末として「5G NTN（Non-Terrestrial Network）」対応の汎用地上アンテナ開発とモビリティ分野での活用実証を共同で提案。本年10月30日に採択されました。

【「宇宙戦略基金」について】

宇宙関連市場が世界的に拡大するなか、宇宙分野の技術開発を長期的に支援する「宇宙戦略基金」が2024年3月、JAXAに設置されました。「輸送」「衛星等」「探査等」の3分野を対象に、民間企業や大学、研究機関などによる事業実証から革新的な技術開発まで、幅広い取り組みを複数年度（最大10年）にわたって支援するものです。

【複数の衛星通信サービスに対応する汎用地上アンテナの開発】

山間部や海上、災害現場など、地上の通信網が届きにくい地域でも安定した通信を確保するため、衛星通信のさらなる活用が期待されています。本提案に基づき、地上で普及している5G技術を衛星に適用する、通信規格5G NTNに対応した汎用地上アンテナを開発します。国際的に標準化が進められている5G NTNへの対応に加え、複数の周波数帯を扱える設計にすることで、1つのアンテナで複数の衛星通信サービスを切り替えて利用できる汎用性を目指します。

【モビリティ分野での活用実証】

今回開発する汎用地上アンテナを自動車、ドローン、建機、船舶に搭載し、衛星通信の実証をおこないます。移動中の通信品質や安定性などを確認し、自動運転時の情報伝送や遠隔点検、映像伝送などへの活用可能性を検証します。

公募概要

公募機関	基金名	技術開発テーマ名	技術開発課題の名称	実施期間
宇宙航空研究開発機構（JAXA）	宇宙戦略基金	衛星通信利活用を拡大するための汎用地上アンテナ及びユースケースの開発・実証	5G NTN対応小型汎用衛星端末と建機・車載等モビリティ向けユースケースの開発・実証	2031年3月（※1）まで

※1　今後、スケジュールは変更の可能性があります。

関連情報：宇宙戦略基金ウェブサイト「衛星通信利活用を拡大するための汎用地上アンテナ及びユースケースの開発・実証」
https://fund.jaxa.jp/techlist/theme3_1/

各者の主な役割および関連サイト

企業・大学名	役割	主な役割の詳細	公式ウェブサイト
シャープ	代表機関	汎用小型衛星端末の開発および各ユースケース開発・実証・全体とりまとめ	https://corporate.jp.sharp/
埼玉大学	連携機関	小型アンテナ開発（TX/RX共用アンテナ素子開発）	https://www.saitama-u.ac.jp/
東京科学大学	連携機関	小型アンテナ開発（アンテナ素子配置・配列理論）	https://www.isct.ac.jp/ja
ARAV	連携機関	建機ユースケース	https://arav.jp/
Prodrone	連携機関	ドローンユースケース	https://www.prodrone.com/
古野電気	連携機関	船舶ユースケース	https://www.furuno.co.jp/

【　ウェブサイト　】 https://corporate.jp.sharp/　(画像ダウンロード https://corporate.jp.sharp/press/)
【　本　　社　】 〒541-8522　大阪府大阪市中央区久太郎町二丁目1番25号
【 お客様お問い合わせ先 】 次世代通信事業統轄部 ビジネス推進部　NTN_B5G@sharp.co.jp